

1. 学会誌・機関紙の発行状況

50音 No	学会名	誌名	創刊年	最新号	年間発行回数	市販の有無	投稿権	査読	言語	アクセス	特記事項
1	産業・組織心理学会	産業・組織心理学研究	1987年5月	2015年・第29巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	第一著者は会員に限る	有	日本語・英語	会員のみ	
2	日本EMDR学会	EMDR研究	2009年	2015年・第7巻・第1号	年1巻1号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	
3	日本LD学会	LD研究	1993年	2015年・第24巻・第3号	年1巻4号	市販も行う	会員のみ	有	日本語	会員のみ	
4	日本応用教育心理学会	応用教育心理学研究	1984年	2016年・第44巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	オープン	
5	日本応用心理学会	応用心理学研究	1978年9月	2016年・第41巻・第2号	年1巻3号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	① 通常号は、英語での投稿も認めている。 ② 4年に1回、国際応用心理学会へ参加した会員を対象に『英文特集号』（1冊）を発行している。 ③ 学会ホームページには、各号のタイトル、執筆者のみを掲載している。
		応用心理学のクロスロード	2010年6月	2016年・第8号	年1号（途中まで年2号）	会員のみ配布	会員のみ	無	日本語	会員のみ	学会ホームページには、各号のタイトル、執筆者のみを掲載している。
6	日本カウンセリング学会	「相談学研究」 *1	1968年	2015年・第48巻・第1号	年1巻4号	市販も行う	会員のみ	有	日本語	一部オープン	*1（学会名改称のため1987.7.1より「カウンセリング研究」）
7	日本学生相談学会	学生相談研究	1960年	2015年・第36巻・第2号	年1巻3号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	会員のみ	
8	日本家族心理学会	家族心理学研究	1987年	2015年・第29巻・第2号	年1巻2号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語・英語	一部オープン	
9	日本学校心理学会	学校心理学研究	2001年	2014年・第14巻・第1号	年1巻1号 *1	市販も行う *2	会員のみ・オープン	有	日本語・英語	会員のみ・オープン	*1（2015年より1巻2号発行予定） *2（書店または大学図書館、個人等注文がある場合は販売）
10	日本感情心理学会	感情心理学研究	1993年	2015年・第23巻・第1号	年1巻3号	市販も行う	会員・非会員	有	日本語・英語	オープン	「感情心理学研究」は2014年度まで冊子体として発刊。2015年度より電子ジャーナル化。「エモーション・スタディーズ」も電子ジャーナルとして発刊。注文がありましたら、冊子体での印刷でも受け付けております。
		エモーション・スタディーズ	2015年	2015年・第1巻・第1号	年1巻1号	市販も行う	依頼論文のみ	有	日本語・英語	オープン	
11	日本基礎心理学会	基礎心理学研究	1982年	2015年・第34巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	オープン	有	日本語・英語	Jstageにて公開	https://www.jstage.jst.go.jp/browse/psychono/-char/ja/
12	日本キャリア教育学会	キャリア教育研究	1980年	2015年・第34巻・第1号	年2回	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	会員のみ	1980年に『進路指導研究』の名称で創刊、学会名称の変更に伴い、2005年に『キャリア教育研究』に変更
13	日本教育心理学会	教育心理学研究	1953年	2015年・第63巻・第3号	年1巻4号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	オープン	
		教育心理学年報	1962年	2014年・第54集	年1集	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	オープン	
		総会発表論文集	1963年	2015年8月第57回総会発表論文集	年1集	市販も行う	会員のみ	無	日本語・英語	オープン	
14	日本グループ・ダイナミクス学会	実験社会心理学研究	1960年	2015年・第55巻・第1号	年1巻2号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語・英語	オープン	
15	日本K-ABCアセスメント学会	K-ABCアセスメント研究	1999年	2015年・第17巻	年1巻	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	インターネット閲覧なし	
16	日本健康心理学会	健康心理学研究	1988年	2015年・第28巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	オープン	
17	日本交通心理学会	交通心理学研究	1985年	2014年・第30巻・第1号	年1巻1号	市販も行う	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	メディカルオンラインで市販
18	日本行動科学学会	行動科学	1960年 *1	2015年・第54巻・第1号	年2回	会員のみ配布 *2	会員のみ（会員および会員が推薦した者）	有	日本語・または英語	会員のみ	*1（第32巻第1号まで「異常行動研究会誌」） *2（在庫有りの場合に限り、会員以外の希望者へ）

50音 No	学会名	誌名	創刊年	最新号	年間発行回数	市販の有無	投稿権	査読	言語	アクセス	特記事項
19	日本行動分析学会	行動分析学研究	1986年	2015年・第29巻・別冊	年1巻2号	市販も行う	オープン	有	日本語・英語	Ciniiにて誰でも有料でアクセス可能(会員のみのみでもオープンでもない)	J-stageへの移行計画あり
20	日本コミュニティ心理学会	コミュニティ心理学研究	1997年	2016年2月・第19巻・第2号	年1巻2号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語・英語	会員のみのみ	
21	日本コラーージュ療法学会	コラーージュ療法学研究	2010年	2015年・第6巻・第1号	年1巻1号	原則として会員のみのみ配布 *1	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	*1(年次大会時のみ市販も行う)
22	日本催眠医学心理学会	催眠学研究	1956年	2015年・第55巻・第1・2号	年1巻2号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語・英語	会員のみのみ	
23	日本産業カウンセリング学会	産業カウンセリング研究	1997年	2015年・第16巻・第1号	年1巻1号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
24	日本質の心理学会	質の心理学研究	2002年	2015年・第14号	年1号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語・英語		
		質の心理学フォーラム	2009年	2015年・第7号	年1号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	オープン	
25	日本社会心理学会	社会心理学研究	1985年	2015年・第31巻・第1号	年1巻3号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語・英語	オープン	
26	日本自律訓練学会	自律訓練研究	1979年	2015年・第35巻・第1・2号	年1巻2号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語・英語	会員のみのみ	
27	日本心理学会	心理学研究	1926年(大正15年)	2015年 第86巻 第5号	年1巻6号	市販も行う	オープン	有	日本語	オープン	
		Japanese Psychological Research	1954年(昭和29年)	2015年 第57巻 第4号	年1巻4号	市販も行う	オープン	有	英語	2016年1月からFree Access *1	*1(インターネットで誰でも無料で閲覧できる)
28	日本心理臨床学会	心理臨床学研究	1983年	2015年・第33巻・第4号	年1巻6号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
		Online Journal of Japanese Clinical Psychology	2015年	2015年・第2巻	年1巻		会員のみのみ	有	英語	オープン	会員への配布および市販は行わず、インターネット上に掲載しております。
29	日本ストレスマネジメント学会	ストレスマネジメント研究	2002年	2015年・第11巻・第2号	年1巻2号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
30	日本青年心理学会	青年心理学研究	1989年	2015年・第27巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	2015年までにCiNiiで有料で閲覧可
31	日本生理心理学会	生理心理学と精神生理学	1983年	2014年・第32巻・第2号	年1巻3号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語・英語	オープン	
32	日本動物心理学会	動物心理学研究	1933年 *1	2015年・第65巻・第1号	年1巻2号	会員のみのみ配布	オープン	有	日本語・英語		*1(前身誌『動物心理』として)
33	日本特殊教育学会	「特殊教育学研究」	1961年	2015年・第53巻・第1号	年1巻5号	市販も行う	会員のみのみ	有	日本語	オープン	
		Journal of Special Education Research	2013年	2015年・第3巻・第2号	年1巻2号	市販も行う	オープン	有	英語	オープン	
34	日本乳幼児医学・心理学会	乳幼児医学・心理学研究	1992年	2015年・第24巻・第1号	年1巻2号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
35	日本人間性心理学会	人間性心理学研究	1983年	2015年・第33巻・第1号	年1巻2号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
36	日本認知・行動療法学会	行動療法研究	1976年3月	2015年・第41巻・第3号	年1巻3号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語・英語	会員のみのみ	
37	日本認知心理学会	認知心理学研究	2004年	2015年・第13巻・第1号	年2号	会員のみのみ配布	オープン	有	日本語・英語	会員のみのみ	
38	日本パーソナリティ心理学会	パーソナリティ研究	1993年「性格心理学研究」として創刊 *1	2016年・第24巻・第3号	年1巻3号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語・英語	オープン	*1(2003年(第12巻)より「パーソナリティ研究」)
39	日本バイオフィードバック学会	バイオフィードバック研究	1995年	2015年・第42巻・第2号	年1巻2号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語	会員のみのみ	
40	日本箱庭療法学会	箱庭療法学研究	1988年	2015年・第28巻・第3号	年3号	会員のみのみ配布	会員のみのみ	有	日本語・英語・その他(独語等)	会員のみのみ	J-STAGEを通して、論文以外の巻頭言、書評等についてはアクセス可能(論文については、臨床事例を扱ったものが多いため)

50音 No	学会名	誌名	創刊年	最新号	年間発行回数	市販の有無	投稿権	査読	言語	アクセス	特記事項
41	日本発達心理学会	発達心理学研究	1990年	2015年・第26巻・第3号	年1巻4号	市販も行う	会員のみ	有	日本語		
42	日本犯罪心理学会	犯罪心理学研究	1963年	2015年・第53巻・第1号	年1巻2号	市販も行う	会員のみ	有	日本語（英文抄録あり）	会員のみ	
43	日本福祉心理学会	福祉心理学研究	2004年	2015年・第1巻・第1号	年1巻1号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	会員のみ	
44	日本ブリーフサイコセラピー学会	ブリーフサイコセラピー研究	1992年	2015年・第23巻・第2号	年1巻2号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	会員のみ	CiNii, 医学中央雑誌を通じて抄録にはアクセス可能
45	日本マイクロカウンセリング学会	マイクロカウンセリング研究	2005年12月	2016年・第11巻・第1号	年1巻1号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	
46	日本森田療法学会	学会雑誌	1990年4月	2015年・第26巻・第2号	年2回（第〇〇巻1号、2号）	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	会員のみ	
47	日本遊戯療法学会	遊戯療法学研究	2002年	2015年・第14巻・第1号	年1巻1号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	
48	日本リハビリテーション心理学会	リハビリテーション心理学研究	1973年	2015年・第41巻・第1号	年1巻2号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語	オープン	
49	日本理論心理学会	理論心理学研究	2000年	2015年・第16巻・第17巻合併巻	原則1年1巻1号	市販も行う	会員のみ	有	日本語		
50	日本臨床心理学会	臨床心理学研究	1962年「臨床心理」名で創刊*1	2016年3月・第53巻・第2号	年1巻2号	会員のみ配布	会員のみ	有	日本語・英語	会員のみ	研修の開催等の情報提供として、1965年創刊の「臨床心理」を、会員に年数回配布*1（1964年日本臨床心理学会設立後に「臨床心理学研究」に変更）
51	日本臨床動作学会	臨床動作学研究	1995年	2014年・第20巻	年1巻	市販も行う	会員のみ	有	日本語	インターネット閲覧なし	

2. 学会賞の制定

50音 No	学会名	名 称	創刊年	対象者
1	産業・組織心理学会	優秀学会発表賞	2015年	以下のすべてを満たす者のうち、本賞の選考を受けることを申し出た者とする。【規程第3条より】 1. 当該年度の4月1日において、年齢が30才以下の者、あるいは、大学院在籍中の者。 2. 当該年度の年次大会において研究発表を申し込んだ責任発表者。 3. 本賞を受賞した経験がない者、あるいは、本賞の受賞を辞退した経験がない者。
2	日本EMDR学会	なし		
3	日本LD学会	実践奨励賞	2009年	LD等の教育に関する優れた実践者であり、その成果を本学会大会で発表したり本学会機関誌に投稿したりしている若手の実践者
		研究奨励賞	2009年	LD等に関する独創的な研究を行い、その成果を本学会大会で発表したり本学会機関誌に投稿したりしている若手の研究者
		学会発表奨励賞	2009年	本学会大会において長年にわたり優れた内容の研究発表・シンポジウム等を数多く行っている者
		学会優秀論文賞	2009年	機関誌「LD研究」に掲載された論文の中で、特に優秀と認めた論文を執筆した者
		学会功労賞	2009年	本学会の円滑な運営のために尽力し、本学会の発展と向上に多大な貢献をしている者
4	日本応用教育心理学会	なし		
5	日本応用心理学会	「学会賞」 (論文賞、奨励賞)	1997年度	機関誌『応用心理学研究』に掲載された論文を対象に選考する。
		「優秀大会発表賞」	2010年度	年次大会の口頭発表、ポスター発表の中から、優秀な発表を投票により決定する。
6	日本カウンセリング学会	学会賞	2009年	本会の発展に顕著な功績を残した者
		奨励賞	1978年	日本におけるカウンセリング学に関する学術的研究と実践的活動を若い会員に奨励するために、優れた研究者ならびに実践者
		記念賞	2000年	・國分記念賞：育てるカウンセリングについて顕著な業績があった者 ・内山記念賞：カウンセリングに関する独創的研究論文の著者 ・松原記念賞：学校カウンセリングに関する研究あるいは著書で優れた業績をあげた者
7	日本学生相談学会	学会賞	1998年	学会の発展・質の向上に対し、顕著な功労を残した会員
		奨励賞	1998年	学生相談に関して優れた研究または実践活動を行った会員
8	日本家族心理学会	研究奨励賞	1992年	機関誌「家族心理学研究」に掲載された論文を対象に選考する。
		学会功労賞	2001年	学会の発展と活動に貢献した会員。
9	日本学校心理学会	石隈利紀学校心理学貢献賞	2013年	受賞前年度の末日で、25歳以上の正会員であり、正会員歴が原則3年以上の者とし、かつ学校心理学実践の発展普及に顕著な功績を納めた者。学校心理学の学術振興に顕著な功績を納めた者。学校心理学の教育振興に顕著な功績を納めた者。その他、教育振興に顕著な功績を納めた者。
		大会発表賞	2007年	本学会大会において、ポスター発表、口頭発表等で筆頭発表者として5回以上の発表をしている者

50音 No	学会名	名称	創刊年	対象者
10	日本感情心理学会	「感情心理学研究」 優秀論文賞	2007年	本学会学会誌の論文の中で、感情心理学に特に重要な貢献をした著者
		大会優秀発表賞	2005年	当該年度の年次大会（以下、大会とする）における研究発表中、学術的・社会的・教育的意義などの観点から、総合的に判断して最も優れていると評価される研究発表をしている方
		学術貢献賞	2014年	「感情心理学研究」に3回論文が掲載され、感情心理学の研究に特に貢献をした方
11	日本基礎心理学会	優秀論文賞	2006年	学会誌『基礎心理学研究』の各巻に掲載された原著論文、研究ノート、評論のうち優れた論文に対して授与するもので、著者に本学会会員を含むものから選ぶものとする
		優秀発表賞	1997年	年次大会の開催年度末日において、発表者（連名発表の場合はその筆頭者）の年齢が35歳未満である若手研究者の優秀な発表を表彰するもの
12	日本キャリア教育学会	学会賞	2004年	本学会の発展に顕著な功績があった個人、もしくは個人を中心とする団体
		研究奨励賞	2005年	日本キャリア教育学会会員として優秀な研究論文を発表した若手研究者
		学会功労賞	2006年	本学会の運営に顕著な功績があった個人、もしくは個人を中心とする団体
13	日本教育心理学会	城戸奨励賞	1965年	選考の対象となる論文は、その執筆者が公刊時において、35歳未満である者に限る。2名以上の共同執筆の場合、そのすべての執筆者が35歳未満であることを要する。
		優秀論文賞	2002年	選考対象となる論文は、当該年度に機関誌『教育心理学研究』に発表された全論文のうち、城戸奨励賞の選考対象とならない論文である。ただし年度とは1月1日から12月31日までをさす。
14	日本グループ・ダイナミクス学会	優秀論文賞	1988年	前年度刊行の「実験社会心理学研究」掲載論文の中から
		優秀学会発表賞	2006年	第1著者である発表者が、発表時点において大学院在学中の者、または大学院修了後（退学後）5年以内の者
15	日本K-ABCアセスメント学会	なし		
16	日本健康心理学会	本明記念賞	1997年	前年に発行された『健康心理学研究』（Vol.29より、Journal of Health Psychology Researchに改称）からもっとも優れた論文を選出
17	日本交通心理学会	優秀発表論文賞	2009年	大会の発表論文の中から選考する
18	日本行動科学学会	なし		
19	日本行動分析学会	論文賞	2002年	前回の選考以降に発行された機関誌に掲載されたすべての論文
		実践賞	2002年	社会的な問題の解決のために行動分析学を活用し実績をあげている個人や組織を、会員・非会員を問わずに対象とする。
20	日本コミュニティ心理学会	若手学会員研究・実践 奨励賞	2003年	学会員であり、満40歳未満の者またはその要件を満たす研究グループ。
		学会発表賞	2013年	当該年度の大会発表（ポスター発表部門・口頭発表部門）のうち、もっとも優れた発表をおこなった各部門における個人またはグループ。
21	日本コラーージュ療法学会	なし	なし	なし
22	日本催眠医学心理学会	ベストプレゼンテー ション賞	2014年	学術大会の口頭発表及びポスター発表のうち、優秀と認められたものを表彰する。
23	日本産業カウンセリング学会	学会賞	平成14年	学会の諸活動を含む産業カウンセリング領域で優れた業績（学会活動の普及、産業カウンセリングの実践、学会への貢献など）をおさめた個人または団体に贈る

50音 No	学会名	名称	創刊年	対象者
24	日本質的心理学会	論文賞	2009年度	前年度・前々年度に刊行された『質的心理学研究』掲載の論文より、3編程度が選出
		国際フロンティア奨励賞	2014年3月	若手研究者
		特別賞	2009年	本学会に対して特に多大な貢献をした人物を顕彰する。
25	日本社会心理学会	論文賞	2003年度	前年度、機関誌「社会心理学研究」に掲載された論文の著者 1. 優秀論文賞：総合的に優れた研究業績と認められるもの。 2. 奨励論文賞：研究の着想、理論化の試み、データ収集の方法やデータ解析の手法等において、独創的な業績と認められるもの。
		出版賞	2003年度	1. 出版賞の候補となるものは、会員を主要編著者とする著作である。 2. 選考の対象となる著作は、前年度に出版され、選考委員会が候補になりうると判断したものとす。
26	日本自律訓練学会	JMI記念賞（日本生産性本部により授与）	1989年	自律訓練法の学術的発展と社会的応用に多大な貢献をした会員
		池見研究奨励賞	1993年	各年の機関誌（自律訓練研究）掲載論文の中で最優秀とされた論文の筆頭著者
		独創研究内山記念賞	2003年	自律訓練法に関連する極めて優れた研究成果を上げた会員
27	日本心理学会	国際賞	2006年	特別賞—国際的に特段に優れた研究業績をあげ日本の心理学の発展に寄与した者。 オリジナルで国際的な研究業績を中心に広く評価を行う。 功労賞—国際学会の設立、実施、運営、その他国際的な活動に功績のあった者。 国際的な活動実績で評価を行う。 奨励賞—国際的に優れた業績を持つ中堅・若手の心理学者。 国際学会での発表、国際誌に掲載された論文等研究業績で評価する。
		優秀論文賞	2002年	前年度の“心理学研究”の原著論文、研究資料および”Japanese Psychological Research”のOriginal Articleの中から優秀な論文と認められたものを選考する。
		大会発表賞	2013年	学術大会の一般発表（口頭及びポスター発表）のうち優秀と認められたものを優秀発表賞、優秀発表賞のうち特に優秀なものを特別優秀発表賞とし顕彰する。
		心理学ミュージアム作品賞	2012年	心理学ミュージアムに掲載または掲載が決定した作品の中で、優れた作品。この内、最も優れた作品を最優秀作品賞とする。
28	日本心理臨床学会	学会賞	1991年	本会の諸活動を含む心理臨床学領域で優れた業績をおさめた個人または団体
		奨励賞	1991年	心理臨床学領域で優れた研究業績をおさめた個人または研究グループ
29	日本ストレスマネジメント学会	制定予定		
30	日本青年心理学会	学会賞	1994年	学会誌掲載者
31	日本生理心理学会	優秀論文賞	2000年	機関誌「生理心理学と精神生理学」に前年度掲載された原著、短報、テクニカルノート、評論の中から、卓越した優秀な論文を投稿した者
32	日本動物心理学会	学会賞	平成23年	動物心理学の発展と振興を目的として、その研究に特段に優れた功績のあった会員
		大会発表奨励賞	平成22年	若手研究者を育成し、その研究を奨励することを目的として、年次大会において優れた研究発表を行った者
33	日本特殊教育学会	研究奨励賞	1989年	前年度「特殊教育学研究」・「Journal of Special Education Research」に発表された原著論文で、執筆者が受理時において40歳未満の会員であること
		実践研究賞	2004年	前年度「特殊教育学研究」・「Journal of Special Education Research」に発表された実践研究論文で、執筆者が実践分野の職場に勤務する会員であること

50音 No	学会名	名称	創刊年	対象者
34	日本乳幼児医学・心理学会	大会優秀発表賞	2015年	満40歳以下の筆頭発表者
35	日本人間性心理学会	学会賞	2006年	本会会員（人間性心理学領域で優れた研究業績及び実践活動が認められ、学会に対して長年の貢献があった個人や団体。個人の学会賞候補者は10年以上引き続き本会会員であること。団体の候補者はその代表者が10年以上引き続き本会会員であれば可とする。）
		奨励賞	2015年	本会会員（人間性心理学領域で近年優れた研究業績または実践活動が認められる個人や団体。奨励賞候補者は3年以上引き続き本会会員であること。但し団体を候補とする場合は、その代表者がこれに該当していれば可とする。）
36	日本認知・行動療学会	内山記念賞	1984年	学会員で、当該年度に機関誌『行動療法研究』に掲載された原著論文および実践報告の執筆者の中から選考
37	日本認知心理学会	優秀発表賞	2003年	以下の条件を満たし、かつ当該年度の認知心理学会大会における発表が、以下のような賞に値すると会員から推薦された者のうち、日本認知心理学会優秀発表賞選考委員会が選考した者。 条件：①発表年度および授賞年度に本学会正会員であること。 ②所定の成果発表手続きを完了していること。
		独創賞	2005年	日本を主たる研究活動拠点として認知心理学の研究をおこなっている存命中の研究者を選考の対象とする。国籍は問わない。会員であることは条件としない。 外国の研究機関に所属している研究者は除外する。ただし、外国の研究機関に所属していても、日本で主たる教育を受けた研究者が日本の研究機関を主たる所属機関としていた期間中におこなった研究は選考対象とする。 選考委員会の委員は、任期中は対象から除外する。
38	日本パーソナリティ心理学会	優秀大会発表賞	2001年	年次大会において最も優秀な研究発表を行った会員
		学会賞	2016年 (予定)	学会機関誌「パーソナリティ研究」所載の論文の中から、巻ごとに、パーソナリティ心理学の研究に大きく貢献する「原著」を執筆した会員に学会賞を授与する。
		奨励賞	2016年 (予定)	学会機関誌「パーソナリティ研究」所載の論文の中から、巻ごとに、パーソナリティ心理学の研究に大きく貢献する「ショート・レポート」を執筆した会員に奨励賞を授与する。
39	日本バイオフィードバック学会	記入なし		
40	日本箱庭療法学会	学会賞	1999年	3年以上引き続き本会正会員で本会の発展に寄与するところが大きかった者
		河合隼雄賞	1999年	3年以上引き続き本会正会員で受賞を機会に研究・実践活動がより発展することが期待できる将来性のある者
41	日本発達心理学会	学会賞	1991年	「発達心理学研究」に掲載された原著論文・展望論文の執筆者
42	日本犯罪心理学会	研究奨励賞	2007年	選考年度の前年度の4月1日現在から選考時点まで継続して本学会の正会員であり、かつ論文の刊行年度の4月1日現在で40歳未満の者が発表したものとする。共著の場合は著者全員がこの条件を満たすこと。
43	日本福祉心理学会	記入なし		
44	日本ブリーフサイコセラピー学会	特別賞	2001年	ブリーフサイコセラピー領域における優れた業績をおさめ、本学会の活動に多大な貢献をした者
		学会賞	1998年	正会員のうちブリーフサイコセラピー領域および本学会の活動に多大な貢献をした者
		研究奨励賞 (2012より「宮田研究奨励賞」名称変更)	1997年	研究奨励賞(1997-2011)、宮田研究奨励賞(研究奨励賞より改称2012-現在) 40歳程度までの若手の正会員のうち奨励に値する優れた研究を行った者
45	日本マイクロカウンセリング学会	福原賞	2015年3月	学会誌『マイクロカウンセリング研究』執筆者の中から選考する。

50音 No	学会名	名 称	創刊年	対象者
46	日本森田療法学会	森田正馬賞	1990年	日本森田療法学会会員で、森田療法の臨床、教育、研究において長年にわたり多大な貢献を果した者
		学会奨励賞	2013年	日本森田療法学会会員で、森田療法の臨床、研究に携わり、特に将来性に富む臨床活動または研究を行った者
47	日本遊戯療法学会	記入なし		
48	日本リハビリテーション心理学会	学会賞，奨励賞		常任理事会の推薦する者
49	日本理論心理学会	記入なし		
50	日本臨床心理学会	記入なし		
51	日本臨床動作学会	なし	なし	なし

3. 国際的連携／国際化促進

50音 No	学会名	経常的連携 (提携機関・内容)	過去4年以内の国際交流活動実績	国際化促進のための制度 (内容)
1	産業・組織心理学会	無		有 (国際関係担当理事より海外へ向けて情報発信を行う等)
2	日本EMDR学会	有 (EMDRIA 関連団体としての代表派遣)	EMDRIAへの代表派遣、EMDR Asiaへの代表派遣	無
3	日本LD学会	無	ICP2016へプログラム委員の派遣	有 (国際委員会の設置、学会大会時のラウンドテーブルの企画)
4	日本応用教育心理学会	有 (University of Delaware, U.S.A. など)		無
5	日本応用心理学会	無	国際応用心理学会へ参加、発表する会員を援助している。	有 (「国際交流委員会」を組織している)
6	日本カウンセリング学会	無	韓国カウンセリング学会、中国心理学会等との連携	無
7	日本学生相談学会	無	ICP2016プログラム委員の推薦	無
8	日本家族心理学会	無	第30回日本家族心理学大会、第7回国際家族心理学会と連動して開催	無
9	日本学校心理学会	無	平成26年度 第43回研修会	無
10	日本感情心理学会	有 (経常的連携はないが、国際感情学会 (International Society for Research on Emotion: ISRE) と関係を有している。)		有
11	日本基礎心理学会	無		無
12	日本キャリア教育学会	有 (International Association for Educational and Vocational Guidance (IAEVG) / Asia Regional Association for Career Development (ARACD) ・研究大会の共催など)	2015年9月、IAEVGと共催、およびARACDの後援を得て、国際キャリア教育学会日本大会をつくば国際会議場で開催	有 (本学会はIAEVGの団体会員であるため、学会員は国際大会において参加費の割引制度が適用される他、IAEVGの電子ジャーナルにアクセスできる)
13	日本教育心理学会	無	無	無
14	日本グループ・ダイナミクス学会	無	アジア社会心理学会との提携 (2014年度まで)	有 (英文論文校閲制度、アジア社会心理学会大会発表旅費支援制度)
15	日本K-ABCアセスメント学会	無	なし	無
16	日本健康心理学会	有 (European Health Psychology Society 学会間での情報交換)		有 (若手研究者の国際学会発表の際の経済的支援、英文論文投稿の際のネイティブチェック費用に対する支援)
17	日本交通心理学会	有 (北欧の交通心理学者との交流 (過去4回のシンポ開催))	国際会議 (ICAP, ICTTP) への発表補助、副会長が国際交通運輸心理学会 (ICTTP) の次期会長に就任予定	有 (国際交流委員会を組織し、予算化している)
18	日本行動科学学会	無	国際会議への会員の参加 (自費にて)	無
19	日本行動分析学会	有 (国際行動分析学会、活動報告他)	国際行動分析学会年次大会における活動報告 (毎年1回) 国際行動分析学会2015年京都大会の準備・実行の支援	有 (日本在住学生会員のABAI/SQAB (国際行動分析学会/数量的行動分析研究会) 参加に対する助成事業)

50音 No	学会名	経常的連携 (提携機関・内容)		過去4年以内の国際交流活動実績	国際化促進のための制度 (内容)	
20	日本コミュニティ心理学会	無		米国コミュニティ心理学会年次大会・国際コミュニティ心理学会への会員参加(自費) 2016年2月 ICU-GRAGによる公開ワークショップ(米国コミュニティ心理学会前会長による基調講演+コミュニティ心理学の理解を深めるためのワークショップ)を開催	無	
21	日本コラーゲル療法学会	無		第31回国際心理学会議 日本心理学会第80回大会シンポジウム企画予定	無	
22	日本催眠医学心理学会	有	(The International Society for Hypnosis 団体会員)	日本催眠医学心理学会第60回大会において David Spiegel 教授(スタンフォード大学)招聘		日本催眠医学心理学会第60回大会において David Spiegel教授(スタンフォード大学)招聘
23	日本産業カウンセリング学会	無		2015年大会でカイデイビス・リン氏の講演会と研修会、2016年4月クララヒル氏の講演会、シンポジウム実施予定	無	
24	日本質的心理学会	無		2011年Global Congress for Qualitative Health Research in Seoulにて、当学会理事長としてやまだようこ氏が講演	有	(国際フロンティア奨励賞 海外に向けてオリジナルな研究を発信し、海外の研究者との共同研究を推進する質的研究者を育てるための制度。37歳以下の若手研究者の国際発信や国際研究を奨励するために、毎年度2人以内に奨励賞を授与する。)
25	日本社会心理学会	無	有	※別紙参照	有	(大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度)
26	日本自律訓練学会	有	(ISATAP: International Society of Autogenic Training & Psychotherapy・世界各国の自律訓練法に関する学会の連合組織)	ISATAP関連の学術大会等への参加者派遣	有	(学会内に国際交流委員会を常設、国際交流基金の積立)
27	日本心理学会	有 (MOUの締結)	(提携機関：中国心理学会、韓国心理学会、オーストラリア心理学会、南アフリカ心理学会、台湾心理学会、アメリカ心理学会、マレーシア心理学会、スウェーデン心理学会、英国心理学会、フィリピン心理学会、インドネシア心理学会、ロシア心理学会、インド心理学会) (内容：各心理学会と連携し心理学発展に寄与する。シンポジウムの共同開催等)	※別紙参照	有	(国際心理学会旅費補助) 国際会議旅費補助制度 2015年度：21名 2014年度：26名 2013年度：27名 2012年度：28名
28	日本心理臨床学会	無		※別紙参照	有	(国際交流助成制度。国際学会もしくは海外研修会参加者に対して最高で15万円までの助成を行なう)
29	日本ストレスマネジメント学会	無		なし	無	
30	日本青年心理学会	無		特になし	有	(2014年に国際交流委員会を設置、国際化を推進)

50音 No	学会名	経常的連携 (提携機関・内容)		過去4年以内の国際交流活動実績	国際化促進のための制度 (内容)	
31	日本生理心理学会	無		2014年に開催の第17回国際心理生理学会議(IOP2014)を後援	無	
32	日本動物心理学会	無		年次大会への海外機関の研究者招聘とそれに伴う年次大会の英語化、ICP2016への委員派遣、年次大会以外での海外機関の研究者講演助成	無	
33	日本特殊教育学会	無				
34	日本乳幼児医学・心理学会	無			無	
35	日本人間性心理学会	無		中国大陸国際表現性心理療法学会にてワークショップ実施	有	(国際交流助成プログラムとして国際学会での発表、国際共同研究/プロジェクトなどの活動に対して助成金を設置している)
36	日本認知・行動療法学会	有	(世界行動療法認知療法会議(WCBCT)、アジア認知行動療法会議(ACBCT)正会員)	第4回アジア認知行動療法会議学術総会の共同主催	有	(国際交流委員会の設置、WCBCT、ACBCTでの発表者への助成)
37	日本認知心理学会	有	(韓国認知生物心理学会、相互若手研究者派遣)	韓国認知生物心理学会、相互若手研究者派遣(2014-2016)	有	(英語での発表促進、など)
38	日本パーソナリティ心理学会	無		※別紙参照	有	(国際交流委員会を設置している)
39	日本バイオフィードバック学会	無		第41回日本バイオフィードバック学会総会に Paul Lehrer博士(ニュージャージー医科歯科大学教授)招聘	有	(国際交流委員会の設置)
40	日本箱庭療法学会	有	(当会事務局は、国際箱庭療法学会(ISST)の国別組織である日本国際箱庭療法士学会(JAST)事務局を兼ねており、ISST理事会に当会の活動や学会誌発行等の報告を行っている)	当会国際委員会委員長がISST理事会および大会へ出席	有	(国際委員会を設置し、会員へISSTの活動報告や入会の呼びかけを行っている)
41	日本発達心理学会	有	(英国心理学会発達部門・キノートスピーカー派遣/受入)	左記互いの大会においてキノートスピーカーを派遣(受入)	有	(左記キノートスピーカー派遣・受入費用一部負担)
42	日本犯罪心理学会	無		第6回アジア犯罪学会を日本犯罪関連学会ネットワーク加盟団体として実施 D. A. Gentile教授を日本犯罪心理学会第53回大会シンポジストとして招聘	有	(国際的な研究交流を促進するための国際犯罪研究基金を設置。)
43	日本福祉心理学会					
44	日本ブリーフサイコセラピー学会	無		2012年8月 第22回日本ブリーフサイコセラピー学会神戸大会にJohn Winslade, Ph. D. (カリフォルニア州立大学サンバーディノ校教授)招聘	無	
45	日本マイクロカウンセリング学会	有	(Microtraining Associates, および ICP, Inc. (国際心理学者会議))	※別紙参照	有	(学会内渉外担当者が積極的に海外研究者の招聘に、かかわっている。)
46	日本森田療法学会	有	(国際森田療法学会)	2013年9月国際森田療法学会(モスクワ)の開催	有	(国内学会における国際セッションの設置。ワークショップの開催。国際委員会の設置)

50音 No	学会名	経常的連携 (提携機関・内容)		過去4年以内の国際交流活動実績	国際化促進のための制度 (内容)	
47	日本遊戯療法学会	有	(韓国遊戯療法学会や台湾遊戯療法学会との交流)	韓国遊戯療法学会や台湾遊戯療法学会との交流	無	
48	日本リハビリテーション心理学会	有	(心理リハビリテーションを通じた国際連携 (マレーシア, タイ, 韓国等))	韓国公州大学との交流	有	(心理リハビリテーションキャンプスーパーバイザー派遣・トレーナー派遣受け入れ等)
49	日本理論心理学会	無		なし	無	
50	日本臨床心理学会	無		2013年7月5日6日に大連大学で「第49回日本臨床心理学会大連国際大会」を開催	無	
51	日本臨床動作学会	無		マレーシアやカンボジアにおいて心理リハビリテーションキャンプを実施。カンボジアにおいてワークショップを開催	無	

4. 倫理規程・指針の有無

50音 No	学会名		学会独自の倫理規程・指針 (具体的内容)		参照・援用する倫理規程・指針 (具体的内容)		学会内の倫理審査委員会 (具体的内容)
1	産業・組織心理学会	有	添付ファイル（産業・組織心理学会倫理綱領）	有	（社団法人日本心理学会倫理規程）	有	（事案ごとに検討委員会を設置する）
2	日本EMDR学会	無		無		有	（倫理案件への対応、倫理綱領作成準備）
3	日本LD学会	有	添付ファイル（倫理綱領）	無		有	（倫理委員会の設置）
4	日本応用教育心理学会	無	（設定予定あり）	無		有	（編集委員会で検討）
5	日本応用心理学会	有	添付ファイル （日本応用心理学会倫理綱領）	無		有	（倫理委員会）
6	日本カウンセリング学会	有	添付ファイル	無		有	（倫理委員会）
7	日本学生相談学会	有	添付ファイル（倫理規程・綱領）	無		有	（倫理委員会）
8	日本家族心理学会	有	日本家族心理学会倫理綱領	無		無	（常任理事会にて審議する）
9	日本学校心理学会	無				無	
10	日本感情心理学会	有	（具体的内容 投稿倫理規程、著作権関連規程を整備している。）	無		有	（設置を決定し、規程等を準備している状況である。）
11	日本基礎心理学会	有	（研究倫理ガイドブック） < http://psychonomic.jp/information/091014.pdf >	有	本学会誌『基礎心理学研究』の執筆・投稿規定にて、「論文等の内容は、研究対象者や被験体の保護を含め、倫理的配慮が必要である。具体的な内容は、「日本心理学会倫理規程」または“Publication Manual of the American Psychological Association”の最新版に則る。」（第3項）と定めている。	無	
12	日本キャリア教育学会	有	添付ファイル（キャリア教育に関する研究および実践活動に携わる倫理規程）	無		有	（倫理に関する諸問題検討及び処理）
13	日本教育心理学会	有	（日本教育心理学会倫理綱領）	無		無	
14	日本グループ・ダイナミクス学会	有	添付ファイル（倫理綱領）	無		無	
15	日本K-ABCアセスメント学会	無	（検討中）	無		無	
16	日本健康心理学会	無		無		無	
17	日本交通心理学会	無					
18	日本行動科学学会	無		有	（社団法人日本心理学会倫理規程）	無	
19	日本行動分析学会	有	添付ファイル（倫理規定あり）	無		有	（常設委員会として設置）
20	日本コミュニティ心理学会	有	添付ファイル（倫理綱領として、前文+第1条～第7条まで制定されている）	無		有	（「倫理委員会」という呼称で、常設委員会のひとつとして設置されている。）

50音 No	学会名	学会独自の倫理規程・指針 (具体的内容)		参照・援用する倫理規程・指針 (具体的内容)		学会内の倫理審査委員会 (具体的内容)	
21	日本コラーージュ療法学会	無	(本学会は現在、独自の倫理規定を設けていないが、日本学術会議「行動の規範」、日本心理臨床学会、臨床心理士の倫理綱領などに準じている。)	有	(「イギリスアートセラピスト協会」の倫理規定)	有	(倫理委員会を常設。年に1～2回開催)
22	日本催眠医学心理学会	有	(日本催眠医学心理学会倫理綱領) < http://www.jshypnosis.com/aboutus/ethics.html >	無		有	(倫理委員会を常設)
23	日本産業カウンセリング学会	有	添付ファイル	無		無	(必要に応じて設置する)
24	日本質的心理学会	有	(『質的心理学研究』規約第9条、『質的心理学フォーラム』規約第9条に研究者倫理の指針が定められている。)	無		無	
25	日本社会心理学会	有	添付ファイル (日本社会心理学会倫理綱領)	無		無	
26	日本自律訓練学会	有	添付ファイル (倫理規定を定めている。倫理綱領)			有	(倫理委員会を常設している。論文の倫理審査は編集委員会が行っている。)
27	日本心理学会	有	< http://www.psych.or.jp/publication/inst/rinri_kitei.pdf > < http://www.psych.or.jp/publication/inst/rinri_kitei.html >	無		有	(倫理問題の検討や倫理規定の見直し)
28	日本心理臨床学会	有	添付ファイル	無		有	添付ファイル(「研究倫理審査委員会に関する規程」をご参照ください)
29	日本ストレスマネジメント学会	有	添付ファイル	無		有	
30	日本青年心理学会	有	添付ファイル	無		無	
31	日本生理心理学会	有	添付ファイル(倫理綱領)	有	添付ファイル(倫理規定)	無	
32	日本動物心理学会	有	添付ファイル(日本動物心理学会『動物実験の指針』)	有	(『動物の愛護及び管理に関する法律』、環境省『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』、文部科学省『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』、日本学術会議『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』)	無	
33	日本特殊教育学会	有	(2015年12月理事会にて決定予定)	無		有	(理事を中心に時限付きで結成)
34	日本乳幼児医学・心理学会	無		無		無	
35	日本人間性心理学会	有	添付ファイル(編集委員会作成の投稿倫理ガイドライン、年次大会時の倫理ガイドライン)	無		無	
36	日本認知・行動療法学会	無	現在作成中	無		有	(倫理委員会の設置)
37	日本認知心理学会	無		有	(日本心理学会研究倫理規定)	有	(具体的問題が生じた場合に活動を予定、現状では活動なし)

50音 No	学会名	学会独自の倫理規程・指針 (具体的内容)		参照・援用する倫理規程・指針 (具体的内容)		学会内の倫理審査委員会 (具体的内容)	
38	日本パーソナリティ心理学会	有	添付ファイル (会員処分に関する規定)	無		無	
39	日本バイオフィードバック学会	有	添付ファイル (日本バイオフィードバック学会 倫理綱領)	無		有	倫理会則委員会－会則の整備など
40	日本箱庭療法学会	有	添付ファイル (JAST倫理規定、JAST倫理綱領)	無		有	(会員が行う箱庭療法及びこれと関連する諸技法に関する研究及び実践活動の倫理に関する諸行為について、その適正を期することを目的とする)
41	日本発達心理学会	有	(論文審査における倫理問題検討内規)	有	(心理学・倫理ガイドブック (有斐閣))	無	
42	日本犯罪心理学会	有	添付ファイル (日本犯罪心理学会倫理問題処理細則)	無		有	(倫理委員会)
43	日本福祉心理学会	有	日本福祉心理学会倫理規定				
44	日本ブリーフサイコセラピー学会	有	添付ファイル (倫理要綱・規定)	無		有	(倫理会則委員会－会則の整備、学会抄録の倫理チェック)
45	日本マイクロカウンセリング学会	有	(研究者－実践家の姿勢について)	有	(作成中)	有	(具体例未発生のため詳細は列挙できないが、理事会内に倫理委員会を設置して、他組織のものなどを集めて規程を作成中。)
46	日本森田療法学会	有	添付ファイル			有	
47	日本遊戯療法学会	有	(「日本遊戯療法学会倫理規程」)	無		有	(「倫理委員会」が設置されている)
48	日本リハビリテーション心理学会	有				有	(学会倫理委員会による)
49	日本理論心理学会	無		無		無	
50	日本臨床心理学会	無		無		無	
51	日本臨床動作学会	無		無		有	

※別紙：過去4年以内の国際交流活動実績

◆ 日本社会心理学会

国際学会シンポジウム企画支援

2013年度

企画題目：Relational mobility: A socio-ecological approach to understanding both between- and within-nation variation from an adaptationist perspective
学会名・開催場所：The 2013 Regional conference of International Association for Cross-Cultural Psychology (Los Angeles, CA, USA.)
企画者：結城雅樹（北海道大学大学院文学研究科）
シンポジウム構成メンバー：結城雅樹（北海道大学）、Joanna Schug（College of William & Mary）、佐藤剛介（北海道大学）、竹村幸祐（京都大学）
補助額：500,000円

企画題目：Psychological well-being in east Asian cultures: Its concepts and predictors
学会名・開催場所：The 10th biennial conference of Asian Association of Social Psychology (Yogyakarta, Indonesia)
企画者：澤海崇文（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程3年）
シンポジウム構成メンバー（敬称略）：澤海崇文（東京大学大学院）、福沢 愛（東京大学大学院）
Sylvia Xiaohua Chen (The Hong Kong Polytechnic University)、Euiyeon Kim (Inha University)、
補助額：500,000円

2012年度

企画題目：Cultural/linguistic specifications of cognitive functions for communication
企画者：石井敬子（神戸大学人文学研究科）
学会名・開催場所：The 30th International Congress of Psychology (南アフリカ、ケープタウン)
シンポジウム構成メンバー 石井敬子（神戸大学） 積山薫（熊本大学）
Panos Athanasopoulos (Newcastle University) 田中章浩（早稲田大学）
北山忍（University of Michigan） 補助額：720,000円

企画題目：社会問題・社会政策と心理学との親しき関係を問い直す：日本と英国の比較を通して
企画者：青野篤子（福山大学人間文化学部）
学会名・開催場所：日本社会心理学会第53回大会（つくば国際会議場）
シンポジウム構成メンバー 青野篤子（福山大学） Erica Buraman (Manchester Metropolitan University) 村本邦子（立命館大学） 八ツ塚一郎（熊本大学） Ian Parker (Manchester Metropolitan University) 森永康子（神戸女学院大学） 五十嵐靖博（山野美容英術短期大学）
補助額：190,000円

◆ 日本心理学会

2015年度

- ① 日本心理学会第79回大会
 - (1) ICP2016組織委員会企画国際シンポジウム
 - ・学会での初めての英語オーラル発表
 - ・人間の心の固有性
 - ・融合的なこころの科学について考える
 - (2) 日中韓三か国シンポジウム：いじめの諸相

2014年度

- ① 日本心理学会第78回大会
 - (1) ICP2016組織委員会企画国際シンポジウム
 - ・高齢脳の可塑性と認知神経的特徴
 - ・子どもと類人猿とロボットにおける共感と協調と「心の理論」
 - ② 第17回中国心理学会
 - ・三か国（日本-中国-韓国）心理学シンポジウム

2013年度

- ① 日本心理学会第77回大会
 - (1) ICP2016組織委員会企画国際シンポジウム
 - ・社会性の進化と発達
 - ② 2013年度韓国心理学会大会
 - ・日韓合同企画シンポジウム

2012年度

- ① 日本心理学会第76回大会
 - (1) ICP2016組織委員会企画国際シンポジウム
 - ・ ICP2016を成功させるために
 - (2) 日韓合同企画シンポジウム
 - ・ 災害と心理学

◆ 日本心理臨床学会

第30回大会 特別講演「難しいクライアントとのセラピー」

日程：2011年9月4日（日）10:00～12:00

会場：福岡国際会議場

講演者：Margaret S. Warner, Ph.D. (Chicago Campus of Argosy University)

国際シンポジウム「震災被害への有効な心理支援に向けて」

第1部 招待講演：心的外傷体験に対して臨床心理学ができること

講師：Jerald Davison (南カリフォルニア大学 心理学教授 老年学研究科研究科長)

第2部 基調報告 ヨーロッパの危機支援の経験から

① 災害時の危機介入における心理社会的支援の方法

講師：Robert Bering (Cologne大学 心的外傷研究センター所長)

② 子どもと若者のトラウマ治療の理論と実際

講師：William Yule (ロンドン大学精神医学研究所 応用児童心理学部門名誉教授)

日程：2011年10月10日（月・祝）10:30～15:30

会場：東京大学・安田講堂

ワークショップ「精神分析と行動療法の統合—個人療法と家族療法」

日程①：2012年3月24日（土）～25日（日）10:00～18:00

会場①：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

日程②：2012年3月31日（土）～4月1日（日）10:00～18:00

会場②：お茶の水女子大学

講師：Paul Wachtel & Ellen Wachtel

第31回大会 特別講演「禅セラピー—心理療法への仏教的アプローチ」

日程：2012年9月16日（日）10:00～12:00

会場：愛知学院大学

講演者：David Brazier (International Zen Therapy Association)

第31回大会 シンポジウム「アジア諸国における心理臨床実践の現状と課題」

日程：2012年9月14日（金）13:30～16:15

会場：愛知学院大学

シンポジスト：Gan Chun Hong (マレーシア国民大学)

Le Quang Son (ダナン師範大学)

馬 偉軍 (華東師範大学)

奇 恵英 (福岡女子大学)

海老名 悠希 (YKストレスオフィス)

指定討論者：針塚 進 (九州大学)

企画・司会：吉川 吉美 (愛知学院大学)

ワークショップ「認知行動療法を使いこなすための実践講座」

① 「認知行動療法のケース・フォーミュレーションを学ぶ」

日程：2013年8月25日（日）10:00～17:00

② 「社交不安障害の認知行動療法を学ぶ」

日程：2013年8月28日（水）09:00～16:00

講師：Candida Richards (オックスフォード認知療法センター)

会場：パシフィコ横浜

第32回大会 シンポジウム「臨床心理学とアジア：日本、韓国、中国間の対話」

日程：2013年8月27日（火）10:00～12:00

会場：パシフィコ横浜

シンポジスト：江 光荣 (華中師範大学)

呉 慶子 (延世大学)

鐘 幹一郎 (京都文教大学)

指定討論者：金 愛慶 (名古屋学院大学)

司会者：小川 俊樹 (放送大学／筑波大学)

ワークショップ「感情に焦点を当てた心理療法—うつへのアプローチ」

日程①：2013年9月21日（土）～22日（日）10:00～18:00

会場①：お茶の水女子大学

日程②：2013年9月28日（土）～29日（日）10:00～18:00

会場②：神戸国際会議場

講師：Leslie S. Greenberg（カナダ・ヨーク大学名誉教授）

ワークショップ「変容意識状態と解離：心/脳/身体はどうやって圧倒的な体験に適応するのか」

日程：2014年8月23日（土）10:00～17:30

会場：パシフィコ横浜

講師：Ruth A. Lanius, M.D., Ph.D.（カナダ・ウェストオンタリオ大学教授／
Harris-Woodman Chair in Psyche and Soma）

第33回大会 招待講演「精神病、異なる立場の専門家、精神科医：

精神病理学への批判的かつ異文化的視点」

日程：2014年8月25日（月）13:30～15:30

会場：パシフィコ横浜

講演者：Keith Tudor, Ph.D.

（Associate Professor at Auckland University of technology, New Zealand）

第33回大会 シンポジウム「アジアにおける心理職の国家資格化の現状と課題」

日程：2014年8月26日（火）10:00～12:00

会場：パシフィコ横浜

企画者：野島 一彦（跡見学園女子大学）

司会者：野島 一彦（跡見学園女子大学）

話題提供：1) 韓国における現状と課題

金 奎卓（大邱校洞初等学校）

2) 中国における現状と課題

張 磊（株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント）

3) 台湾における現状と課題

廣 梅芳（コーン・フェリー・インターナショナル株式会社）

第34回大会 招待講演「EMDR療法：過去の発展、現在の地位、未来へのビジョン」

日程：2015年9月18日（金）13:30～15:30

会場：神戸国際展示場

講演者：Udi Oren, Ph.D. / ウディ・オレンPhD.

（President, EMDR Europe Association / EMDRヨーロッパ学会、会長）

第34回大会 講習会「医療・保健領域の臨床心理職に求められる知識と技能をまなぶ」

日程：2015年9月18日（金）16:00～18:00

会場：神戸国際会議場

講師：David Murphy博士

（英国オックスフォード大学大学院・臨床心理学コース臨床訓練部長）

第34回大会 シンポジウム

「医療・保健領域における臨床心理職の役割と課題：日英比較を通して」

日程：2015年9月19日（土）10:00～12:00

会場：神戸国際会議場

第1部 基調講演『英国における医療・保健領域の臨床心理職のスタンダード』

講演者：David Murphy 博士

（英国オックスフォード大学大学院・臨床心理学コース臨床訓練部長）

◆ 日本パーソナリティ心理学会

第20回大会（2011年）

国際交流委員会企画シンポジウム

話題提供者：Funder, D. C.（カリフォルニア大学リバーサイド校）

第21回大会（2012年）

招待講演 Hermans, H. J. M.（ナイメーヘン・ラートボウト大学）、

特別ワークショップ Hermans-Konopka, A.（国際対話的自己研究所）

第22回大会（2013年）

招待講演 De Fruyt, F.（ゲント大学）

第24回大会（2015年）

国際交流委員会企画 Helpful Tips for Writing and Presenting Your Research in English

講演者：Manalo, E.（京都大学）

◆ 日本マイクロカウンセリング学会

第6回学術研修集会

特別講演：Counseling and Psychotherapy, Today—How can CBT contribute to the development of the client and the his /her social network in a multicultural perspective

日程：2014年3月9日（日）

会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

講演者：Dr. Gunnel Backenroth（Professor, Karolinska Institute）

第7回学術研修集会

基調講演：East-West Cross Fertilization on Microcounseling and Self development Practices

日程：2015年3月8日（日）

会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

講演者：Dr. Jose Prieto（Senior Professor, Complutense University, Madrid, Spain）